

第11回「大学リレーセミナー」



(公財) 京都産業21・けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK) では、入居企業に加えまして、けいはんな学研都市に立地する研究機関や企業の方々、支援機関の方々にも参加していただき、研究内容や事業内容などの事例紹介、外部講師による話題提供など、相互交流の場づくりを進めています。

日時：2017年 11月30日(木) 18時~20時

場所：けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK) 3階「会議室」

●第1部：健康医療の現状と将来展望－1

「音声障害と嚥下障害への対応から」

京都学園大学は、2015年4月、京都市内へ進出し、同時に時代のニーズに即した健康医療学部を開設しました。現在日本においては高齢化社会の進行と相俟って、難聴や音声障害によるコミュニケーション障害、あるいは加齢に伴う嚥下障害が大きな社会問題となっており、いずれもが生活の質 (QOL) をおとしてしまいます。この重要な課題に対し、京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室教授として、長年、臨床・研究の両面から取り組んできたことを踏まえ、社会生活を送るうえで高齢者における大切な音声へのケアと現在死因の3位となった嚥下性肺炎の大きな原因である嚥下障害への対応を通して、健康医療を考えたいと思います。

講師：久 育男 先生
京都学園大学 副学長

●第2部：健康医療の現状と将来展望－2

「認知行動療法の実際」

現代の医療において、根拠に基づいた医療 (Evidence-Based Medicine) はあたりまえになってきました。認知行動療法は、精神科領域のなかできわめて多岐にわたる精神疾患に対してその効果を実証的に研究されてきた治療法です。ひとは落ち込んだ時など、考え方自体がネガティブになってしまい、行動にも影響し、さらに気分が滅入ってしまうという悪循環に陥ることがよくあります。認知行動療法はネガティブになりがちな考え方を柔軟に多様性のある考え方に変えていこうとするものです。近年では、医療分野にとどまらず、産業分野でのメンタルヘルスにもさかんに活用されています。今回はその認知行動療法の実際をご紹介したいと思っています。

講師：正木 大貴 先生
京都女子大学 現代社会学部 現代社会学科 准教授

いずれも、お話 40分、意見交換 20分を予定

【定 員】 **40名** (申込が定員を超えた場合は抽選となります)
【参加費】 **500円** (当日申し受けます)
【申込締切】 **2017年 11月29日 (水)**

※参加申し込みは裏面をご覧ください。

<主催> 公益財団法人京都産業21 けいはんな支所 KICK事務局

E-mail kick@ki21.jp FAX 0774-66-7546

<協力> けいはんなRC

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAXでお申込み下さい。
- E-mailでのお申込みの場合は、件名を「第11回大学リレーセミナー参加申込」として、以下の内容を記載してお申込み下さい。

E-mail : kick@ki21.jp FAX: 0774-66-7546

第11回「大学リレーセミナー」2017年11月30日(木)開催

フリガナ お名前	
ご所属 (勤務先)	
部署・役職	
住所	
TEL	(FAX)
E-mail	

<公共交通機関をご利用の場合>

■ 京都から

- 「京都駅」→近鉄京都線「新祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 (所要約50分)

■ 大阪から

- 「京橋駅」→JR学研都市線「祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 (所要約70分)
- 「本町駅」→中央線・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 (所要約60分)
- 「難波駅」→近鉄奈良線「生駒駅」→けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 (所要約60分)

